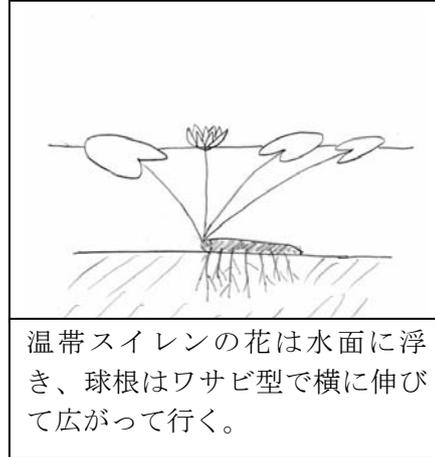
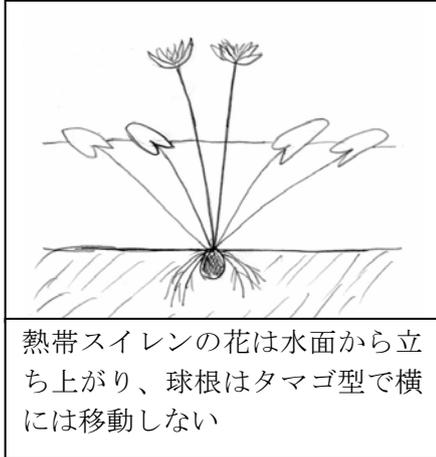


熱帯スイレンのお手入れ

07.6.10

特 徴：アフリカを原産地とする熱帯性のスイレンで、初夏から秋にかけて、エキゾチックなムードのある花をたくさん咲かせます。通常の温帯性（耐寒性）スイレンの花は水面に浮かぶように花を開きますが、熱帯スイレンは力強く水面から立ち上がって花を開きます。また、温帯種に比べ花数も多く、開花期間も長いのが特長で10月まで花が見られます（中部関西地方基準）。花は朝開いて夕方には閉じますが、開閉を繰り返しながら、3日間咲き続けます。小さな容器で育てればコンパクトに育ち、家庭でも十分に楽しむ事が出来ます。



置き場所：初夏から秋まではスイレン鉢やバケツなどに水を張り、鉢ごと沈めて、屋外の直射日光の当たる所に置きます。日当たりが悪いと花付きが極端に悪くなるので、室内での栽培は不可能です。水の深さは芽の上5~20cmが適当で、あまり深いと花つきが悪くなります。水は極端に汚れない限り、入れ替える必要はなく、減った分だけ注ぎ足してやれば十分です。

肥 料：7月から10月まで毎月一回、スイレン用の肥料を5号鉢に1個、水中に溶け出さないよう鉢のフチに沿って土にしっかりと埋め込んでやります。水中に溶け出すと水が汚れます。

植え替え：スイレン鉢などでの栽培なら5号鉢が適当ですが、水面の広い容器や池などで栽培する場合、植え込み鉢を大きな物に替えてやると生育も良く、花も大きくなります。用土は赤玉土の小粒に水を入れて良く練った物か田土を使います。

そ の 他：黄色くなった古葉は早めに摘み取ります。3日間開閉を繰り返したあとの花は閉じて水中に潜りますが、この花ガラを放っておくと腐って水を汚すので、早めに摘み取ります。ボウフラ対策として、メダカと一緒に飼うと良いでしょう。アブラムシがついたら、浸透性殺虫剤のスプレーを軽く散布しておくとう効果的です。

冬 越 し：12月頃、寒くなって周囲に霜が下り、生育が止まってきたら、球根を掘り上げ葉と根をきれいに切り落として練った赤玉土に包み、空気に触れないようビニール袋に密封し室内で越冬させます。このとき、あまり早くから掘り上げると腐りやすいので、十分に寒さにあわせ、球根が硬くなってから行います。越冬中の温度は5℃から15℃程度が最適です。4~5月に球根を取り出して水中に入れ、暖かい室内の窓辺に置いて発芽してきたものを練った赤玉土で鉢に植えつけます。新芽の部分が土に隠れないように浅く植えるのがポイントです。球根が大きいときは新芽を鉢の中心に据え、球根を横にすると良いでしょう。

ムカゴ：ムカゴのできる品種（ムカゴ種）の場合、ムカゴのついた葉を切り離し、裏返しにして水に浮かべておくと発芽して小苗が簡単に作れ、繁殖することが出来ます。7月から8月の間なら、ほぼ3週間で立派な苗になり、すぐに植え込めば年内に花が咲きます。